

II 国語

正答表並びに採点基準

(平成二十五年度)

問一

(ウ)	2	(エ)	4	(イ)	3	(ア)	1
				(イ)	1	(ア)	3
				(イ)	1	(ア)	1
				(イ)	3	(ア)	3
				(イ)	2	(ア)	2
				(イ)	4	(ア)	4

問二

(ア)	3	(イ)	2	(ウ)	1	(エ)	4
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

問三

(ア)	3	(イ)	4	(ウ)	3	(エ)	4	(オ)	2	(カ)	1
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

問四

(ア)	1	(イ)	3	(ウ)	2	(エ)	1	(オ)	4		
(キ)	2	(カ) 人と違う言葉の使用が価値を生み、同じ言葉 だと思っても同様になるので、世界に言葉は無 数にあった方がいい。									

50

(カ)は正答例。

40

問五

(ア)	テレビは、国内ニュースと天気予報で最も高 く、インターネットは、観光情報とショッピング ング情報で最も高い利用率になっています。
-----	--

50

60

(イ)	メディアを効果的に利用するために大切なこ とは、それぞれの特性をきちんと理解したう えでメディアを使い分けることと、信頼でき る情報かどうかきちんと判断することです。
-----	--

70

(イ)は正答例。

80

計	100点
問	配点
一	各2点 計20点
二	各4点 計16点
三	(ア)2点 他は各4点 計22点
四	(ア)2点 (カ)6点 他は各4点 計28点
五	(ア)6点 (イ)8点 計14点

採 点 上 の 注 意

問一 (イ) について

- ① 字体については、平成二十二年十一月三十日内閣告示第二号『常用漢字表』によること。あとに、それに基づく許容例を示す。
『常用漢字表』は、以下の文化庁ホームページからダウンロードできる。
<http://www.bunka.go.jp>

〈 許 容 例 〉

- | | | | |
|-------|-----------------|-----|-----------------|
| 1 勝 ↓ | 月 ^{あき} | 因 ↓ | 大 ^{止め} |
| 2 牧 ↓ | 牛 ^{はね} | | |
| 3 秘 ↓ | 禾 ^{はね} | 策 ↓ | 市 ^{はね} |
| 4 照 ↓ | 日 ^{あき} | | |
- ① 方向

- ② 疑問点は複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。

【記述問題について】

- ① 正答例以外の文であっても、与えられた条件をすべて満たし、問題の趣旨に即した文ならば正答とすること。
② 内容については、中間点を設けないこと。
③ 誤字、脱字があった場合は、その数にかかわらず、一点減点とする。誤字、脱字の判断については、校内で統一すること。
④ 表現に問題があり、それによって明らかに問題の趣旨から外れている、内容を読みとることができない等の場合は、誤答とする。ただし、許容できると判断した場合は、その数にかかわらず、一点減点とする。表現の問題については、複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。
⑤ 疑問点は複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。

問四 (ウ) について

- ① 中間点は、誤字、脱字と表現に問題があった場合以外は設けないこと。したがって、中間点は、四点または二点となる。

〈 正 答 例 〉

言葉が同じなら、誰もが同じようなことしか考えられなくなるから、世界には無数の言葉が同じだと、考え方も同じようになるので、世界には無数の言葉があった方がいい。世界の中の人が同じことを話すのではなく、違う言葉が話すことが価値を生むので世界中で違う言葉が話す時に感じるズレにコミュニケーションの楽しさがあるから世界には無数の外国語の間で「幸せ」の意味にズレがあるように言葉の違いに価値があるので、多くの世界中の言葉が同じならいいのにも思うが、それでは考え方も誰もが同じようになってしまうからよくない。

40
..... 50
言葉があった方がいい。
の言葉は違う方がいい。
の言葉が必要だ。
言葉があった方がいい。
てしまうからよくない。

問五 (ア) について

- ① 中間点は、誤字、脱字と表現に問題があった場合以外は設けないこと。したがって、中間点は、四点または二点となる。
② グラフを正確に読み取っていること。

〈 正 答 例 〉

テレビは、国内ニュースと天気予報において最も高く、それ以外ではインターネットが最も高くなっています。国内ニュースと天気予報で最も高いものの、観光情報と商品情報ではインターネットとその立場が逆になっています。

50
..... 60

問五 (イ) について

- ① 中間点は、誤字、脱字と表現に問題があった場合以外は設けないこと。したがって、中間点は、六点または四点となる。
② 内容については次の二点に触れていること。
Bさんの意見：メディアの特性を理解した利用。
Cさんの意見：信頼できる情報の利用。

〈 正 答 例 〉

メディアを効果的に利用するために大切なことは、メディアの特性を理解して使い分けたり、信頼できる情報かどうかをきちんと判断したりすることです。メディアの情報が信頼できるものかどうかを判断することとメディアの特性を理解して情報に適したメディアの特性を理解したうえでメディアを使い分けることと、情報の信頼度をきちんと判断してメディアそれぞれのメディアの特性の違いを理解して使い分けることと、情報の信頼度をきちんと判断することです。

70
..... 80
メディアを選ぶことです。
メディアを使うことです。

Ⅲ 数 学 正 答 表 並 び に 採 点 基 準 (平成 25 年度)

問 1	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
	10	$-\frac{4}{15}$	$8a$	$3\sqrt{7}$

問	配 点
1	各 3 点 計 12 点

問 2	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
	$6x-19$	$(x-1)(x+8)$	$x = \frac{1 \pm \sqrt{13}}{6}$	$x = 3, y = -2$
	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)
	12	$\sqrt{29}$ cm	$x = 6$	$\angle ADC = 54^\circ$

2	各 4 点 計 32 点
---	-----------------

問 3	(ア)	(イ)	(ウ)
	$a = \frac{3}{4}$	$y = \frac{5}{3}x+3$	$S : T = 9 : 16$

3	各 4 点 計 12 点
---	-----------------

問 4	(ア)	(イ)	(ウ)
	$\frac{1}{12}$	$\frac{1}{6}$	$\frac{7}{36}$

4	各 4 点 計 12 点
---	-----------------

問 5	<p>説明</p> <p>連続する 5 つの自然数のうち、最も小さい自然数を n とすると、</p> <p>連続する 5 つの自然数は $n, n+1, n+2, n+3, n+4$ と表されるから、最も大きい自然数は $n+4$ である。</p> <p>よって、最も大きい自然数の 2 乗から最も小さい自然数の 2 乗を引いた差は、</p> $(n+4)^2 - n^2 = n^2 + 8n + 16 - n^2$ $= 8n + 16$ $= 8(n+2)$ <p>$n+2$ は中央の自然数だから、$8(n+2)$ は中央の自然数の 8 倍である。</p> <p>よって、連続する 5 つの自然数について、最も大きい自然数の 2 乗から最も小さい自然数の 2 乗を引いた差は、中央の自然数の 8 倍になる。</p>
-----	--

正答例。

5	10 点
---	------

問 6	(ア)	(イ)	(ウ)
	72 cm ³	$3\sqrt{6}$ cm	$2\sqrt{6}$ cm

6	各 4 点 計 12 点
---	-----------------

問 7	<p>[証明]</p> <p>$\triangle ABF$ と $\triangle DEF$ において、 まず、対頂角は等しいから、 $\angle AFB = \angle DFE$ …… ①</p> <p>次に、$\triangle ABC$ において、 点 D は辺 BC の中点、点 E は辺 AC の 中点であるから、中点連結定理より、 $AB \parallel ED$ …… ②</p> <p>②より、平行線の錯角は等しいから、 $\angle ABE = \angle DEB$</p> <p>よって、$\angle ABF = \angle DEF$ …… ③</p> <p>①, ③より、2 組の角がそれぞれ等しいから、 $\triangle ABF \sim \triangle DEF$</p>
-----	---

正答例。

7	10 点
---	------

計	100 点
---	-------

採点上の注意

1. 中間点は、問5、問7以外には設けないこと。
2. 問5、問7の疑問点は、中間点の設定を含め複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。
3. 正の数については、+の符号をつけても可とする。
4. 多項式の項の順序、積の順序は入れかわっても可とする。
5. 有限小数で表される分数は小数で表しても可とする。循環小数になるものを有限小数で表したり、「…」を用いて表したものは不可とする。仮分数は帯分数で表しても可とする。
6. 問5については、以下の採点基準とする。

連続する5つの自然数は $n, n+1, n+2, n+3, n+4$ と表されるから、最も大きい自然数は $n+4$ である。

よって、最も大きい自然数の2乗から最も小さい自然数の2乗を引いた差は、

$$\begin{aligned}(n+4)^2 - n^2 &= n^2 + 8n + 16 - n^2 \\ &= 8n + 16 \\ &= 8(n+2)\end{aligned}$$

$n+2$ は中央の自然数だから、 $8(n+2)$ は中央の自然数の8倍である。

よって、連続する5つの自然数について、最も大きい自然数の2乗から最も小さい自然数の2乗を引いた差は、中央の自然数の8倍になる。

*説明に必要な自然数が n を用いて適切に表されていること、説明の過程と、予想が正しいことが正しく記述されていることを基準として採点すること。

- (1) 説明の過程で、最も大きい自然数が n の式で表されていて、2点を与える。
- (2) 説明の過程で、求める式に関することが記述されていて、2点を与える。
- (3) 説明の過程で、(2)に基づいて $8(n+2)$ が記述されていて、3点を与える。
- (4) 説明の過程で、中央の自然数が n の式で表されていて、2点を与える。
- (5) 説明の過程で、(3)、(4)に基づいて予想が正しいことが記述されていて、1点を与える。
- (6) 間違った式等が記述されていた場合、説明に不必要であっても減点する。
- (7) 正答表以外の説明については、上記の採点基準に準じて点を与える。

7. 問7については、以下の採点基準とする。

<p>△ABFと△DEFにおいて、 まず、対頂角は等しいから、 $\angle AFB = \angle DFE$ ①</p>	I
<p>次に、△ABCにおいて、 点Dは辺BCの中点、点Eは辺ACの 中点であるから、中点連結定理より、 $AB \parallel ED$ ②</p>	II
<p>②より、平行線の錯角は等しいから、 $\angle ABE = \angle DEB$ よって、$\angle ABF = \angle DEF$ ③</p>	III
<p>①、③より、2組の角がそれぞれ等しい から、 $\triangle ABF \sim \triangle DEF$</p>	IV

*証明に必要な2組の角がそれぞれ等しくなる理由と結論、2つの三角形が相似になる理由と結論が正しく記述されていることを基準として採点すること。

- (1) Iの□は理由と結論が正しく記述されていて、2点を与える。
- (2) IIの□は理由と結論が正しく記述されていて、4点を与える。ただし、「中点連結定理」という語句が用いられていなくても可とする。
- (3) IIIの□は、(2)に基づいて理由と結論が正しく記述されていて、2点を与える。
- (4) IVの□は、(1)、(2)、(3)に基づいて理由と結論が正しく記述されていて、2点を与える。
- (5) 間違った式等が記述されていた場合、証明に不必要であっても減点する。
- (6) 正答表以外の証明については、上記の採点基準に準じて点を与える。

I 外国語(英語) 正答表並びに採点基準 (平成25年度)

問1

(ア)			
No. 1	No. 2	No. 3	No. 4
1	4	2	3

(イ)		
No. 1	No. 2	No. 3
2	3	1

(ウ)											
ケ	イ	コ	は	毎	日	夕	食	後	、	妹	の
ミ	キ	の	た	め	に	、	世	界	中	の	多
く	の	場	所	に	行	く	一	人	の	少	年
に	つ	い	て	の	本	を	読	ん	で	く	れ
た	。										

35
50

問2 (ウ)は正答例。

(ア)	(イ)
month	Mine

問3

(ア)	(イ)	(ウ)
1	4	2

問4

(ア)					(イ)				
6	3	4	2	1	5	1	3	6	4
(ウ)					(エ)				
2	5	6	4	3	4	2	6	5	1

問5

(ア)		
(Shall I help you) ?
(イ)-(1)		
(Soccer is more popular than tennis) in....
(イ)-(2)		
(Tennis is the most popular) sport....

問6 (ア), (イ)-(1), (イ)-(2)は正答例。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
4	3	5	4

問7

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
1	4	3	2

問8

(ア)	(イ)
2	3

(ウ)		
Now Mr. Doi (has found an important thing) to him.

(ウ)は正答例。

(エ)
1

問	配点
1	(ア), (イ) 各2点 (ウ) 4点 計18点
2	各2点 計4点
3	各2点 計6点
4	各3点 計12点
5	各4点 計12点
6	各4点 計16点
7	各4点 計16点
8	各4点 計16点
計	100点

採点上の注意

問1(ウ)について

- ① 正答例以外の日本語であっても、与えられた条件をすべて満たし、問題の趣旨に即した日本語ならば正答とする。
- ② 「一人の少年についての本（物語・お話等）を読んだ」ことに触れていなければ誤答とする。
- ③ 誤字，脱字については，その数にかかわらず，1点減点とする。誤字，脱字の判断は，校内で統一すること。
- ④ 中間点は，誤字，脱字についてのみ設ける。したがって，中間点は3点となる。
- ⑤ 疑問点は複数の採点者によって判断し，校内で統一すること。

〈 正答例 〉

ケイコは毎日夕食後、妹のミキのために、

世界の様々な所に旅する一人の少年	35	年	についての物語を読んであげた。	50
世界中の場所に行った一人の少年			についての本を読んでくれた。	
一人の少年についての本を読んだ			。	
本を読んでくれた。それは、一人			の少年についてのものだった。	

【問5(ア)，(イ)–(1)，(イ)–(2)及び問8(ウ)の記述問題について】

- ① 正答例以外の英語であっても、与えられた条件をすべて満たし、文脈に即した英語ならば正答とする。
- ② 綴り字の誤りについては誤答とする。綴り字の誤りの判断は，校内で統一すること。
- ③ 大文字，小文字の誤りについては，その数にかかわらず，1点減点とする。大文字，小文字の判断は，校内で統一すること。
- ④ 中間点は，大文字，小文字の誤りについてのみ設ける。したがって，中間点は3点となる。
- ⑤ 疑問点は複数の採点者によって判断し，校内で統一すること。

問5(ア)について

〈 正答例 〉

- ・ (Shall I help you with the bag) ?
- ・ (Shall I carry your bags) ?
- ・ (Shall I take your bag for you) ?
- ・ (Shall we go upstairs with your bags) ?

問5(イ)–(1)について

〈 正答例 〉

- ・ (Soccer was more popular than tennis) in....

問5(イ)–(2)について

〈 正答例 〉

- ・ (Tennis was the most popular) sport....

問8(ウ)について

〈 正答例 〉

- ・ Now Mr. Doi (found one important thing) to him.
- ・ Now Mr. Doi (has learned something important) to him.
- ・ Now Mr. Doi (knows what is important) to him.
- ・ Now Mr. Doi (has found something that is important) to him.

リスニングテスト放送台本

注：[] 内の文字は音声として入っていません。

(チャイム音) [間2秒]

これから、問1のリスニングテストの放送を始めます。問題冊子の1ページを開けてください。[間2秒]

問題は(ア)・(イ)・(ウ)の三つに大きく分かれています。放送を聞きながらメモをとってもかまいません。

それでは、問題(ア)に入ります。問題(ア)は、No.1～No.4まであります。PaulとEmiが話をしています。まずPaulが話し、次にEmiが話し、その後も交互に話します。対話の最後でEmiが話す言葉のかわりに(チャイムの音)というチャイムが鳴ります。そのチャイムのところに入るEmiの言葉として最も適するものを、問題(ア)の指示にしたがって答えなさい。まず、問題(ア)の指示を読みなさい。[間7秒] それでは、始めます。対話は2回ずつ放送します。[間2秒]

- No. 1 [Paul :] **What are you going to do during summer vacation, Emi ?**
[Emi :] I am going to visit Kyoto with my family. We often go there.
[Paul :] **How many times have you visited Kyoto ?**
[Emi :] (チャイム) [間2秒]
[Paul :] **What are you going to do during summer vacation, Emi ?**
[Emi :] I am going to visit Kyoto with my family. We often go there.
[Paul :] **How many times have you visited Kyoto ?**
[Emi :] (チャイム) [間4秒]
- No. 2 [Paul :] **What are you doing, Emi ?**
[Emi :] I can't find my bag. Have you seen it, Paul ?
[Paul :] **No, I haven't. Tell me more about your bag. I can help you.**
[Emi :] (チャイム) [間2秒]
[Paul :] **What are you doing, Emi ?**
[Emi :] I can't find my bag. Have you seen it, Paul ?
[Paul :] **No, I haven't. Tell me more about your bag. I can help you.**
[Emi :] (チャイム) [間4秒]
- No. 3 [Paul :] **I want to walk to Yokohama Station. Do you know the way, Emi ?**
[Emi :] Yes, but you have to walk for a long time.
[Paul :] **No problem. I like walking.**
[Emi :] (チャイム) [間2秒]
[Paul :] **I want to walk to Yokohama Station. Do you know the way, Emi ?**
[Emi :] Yes, but you have to walk for a long time.
[Paul :] **No problem. I like walking.**
[Emi :] (チャイム) [間4秒]
- No. 4 [Paul :] **I enjoyed the party at Akiko's house yesterday.**
[Emi :] That's nice, Paul. I wanted to go, too, but I couldn't.
[Paul :] **Did you have anything to do yesterday ?**
[Emi :] (チャイム) [間2秒]
[Paul :] **I enjoyed the party at Akiko's house yesterday.**
[Emi :] That's nice, Paul. I wanted to go, too, but I couldn't.
[Paul :] **Did you have anything to do yesterday ?**
[Emi :] (チャイム) [間4秒]

次に、問題(イ)に入ります。問題(イ)は、No.1～No.3まであります。それぞれ同じ高校に通うKenとLisaの対話を放送します。対話の内容を聞いて、問題冊子に印刷されているそれぞれの質問の答えとして最も適するものを、問題(イ)の指示にしたがって答えなさい。まず、問題(イ)の指示を読みなさい。[間7秒] それでは、始めます。対話は2回ずつ放送します。[間2秒]

- No. 1 [Ken :] **Hi, Lisa. Let's play tennis in Minato Park tomorrow.**
[Lisa :] I'm sorry. I'm going to go shopping with my mother tomorrow.
[Ken :] **How about next Sunday ?**
[Lisa :] That's good, but only in the morning. I have to leave the park at twelve. After that, I need to go to Mary's house.
[Ken :] **All right. Let's meet at nine in the morning in the park next Sunday.**
[Lisa :] OK. [間4秒]
- [Ken :] **Hi, Lisa. Let's play tennis in Minato Park tomorrow.**
[Lisa :] I'm sorry. I'm going to go shopping with my mother tomorrow.
[Ken :] **How about next Sunday ?**
[Lisa :] That's good, but only in the morning. I have to leave the park at twelve. After that, I need to go to Mary's house.
[Ken :] **All right. Let's meet at nine in the morning in the park next Sunday.**
[Lisa :] OK. [間5秒]

(裏面へ続く)

No. 2 [Ken:] [電話音] Hello. This is Ken. May I speak to John?
[Lisa:] Hi, Ken. This is Lisa. I'm sorry, but my brother is out now.
[Ken:] I see. Can you tell John to call me back when he comes home?
[Lisa:] All right. I will tell him to call you back.
[Ken:] Thank you, Lisa. Goodbye.
[Lisa:] Goodbye, Ken. [間4秒]

[Ken:] [電話音] Hello. This is Ken. May I speak to John?
[Lisa:] Hi, Ken. This is Lisa. I'm sorry, but my brother is out now.
[Ken:] I see. Can you tell John to call me back when he comes home?
[Lisa:] All right. I will tell him to call you back.
[Ken:] Thank you, Lisa. Goodbye.
[Lisa:] Goodbye, Ken. [間5秒]

No. 3 [Ken:] Next Wednesday is my mother's birthday.
[Lisa:] Really? What are you going to do for her, Ken?
[Ken:] I want to give her some flowers.
[Lisa:] That's a good idea, but I think you give her flowers every year.
[Ken:] Well... then, I will not give her flowers this year. I will cook dinner for her.
[Lisa:] Great. I think your mother will be happy. [間4秒]

[Ken:] Next Wednesday is my mother's birthday.
[Lisa:] Really? What are you going to do for her, Ken?
[Ken:] I want to give her some flowers.
[Lisa:] That's a good idea, but I think you give her flowers every year.
[Ken:] Well... then, I will not give her flowers this year. I will cook dinner for her.
[Lisa:] Great. I think your mother will be happy. [間5秒]

最後に、問題(ウ)に入ります。問題(ウ)では、Mikiが英語の授業で行った短いスピーチを放送します。放送を聞き、問題(ウ)の指示にしたがって答えなさい。このあと、15秒後に放送が始まりますので、それまで問題(ウ)の指示を読みなさい。
[間15秒] それでは、始めます。スピーチは2回放送します。 [間2秒]

Hi, everyone. I'm Miki. I'm going to tell you about my favorite book. It is a story about a boy. He goes to many places around the world. My sister, Keiko, gave the book to me when I was four years old. Keiko was eleven years old then. She read it to me after dinner every day. Now, I also want to go to many places around the world. Thank you for listening. [間3秒]

Hi, everyone. I'm Miki. I'm going to tell you about my favorite book. It is a story about a boy. He goes to many places around the world. My sister, Keiko, gave the book to me when I was four years old. Keiko was eleven years old then. She read it to me after dinner every day. Now, I also want to go to many places around the world. Thank you for listening. [間4秒]

これで問1のリスニングテストの放送を終わります。解答を続けてください。
(チャイム音) [計9分7秒]

IV 理科 正答表並びに採点基準 (平成25年度)

問1	(ア)	(イ)	(ウ)
	1	2	3

問	配点
1	各3点 計9点

問2	(ア)	(イ)	(ウ)
	1	3	4

2	各3点 計9点
---	------------

問3	(ア)	(イ)	(ウ)
	3	1	2

3	各3点 計9点
---	------------

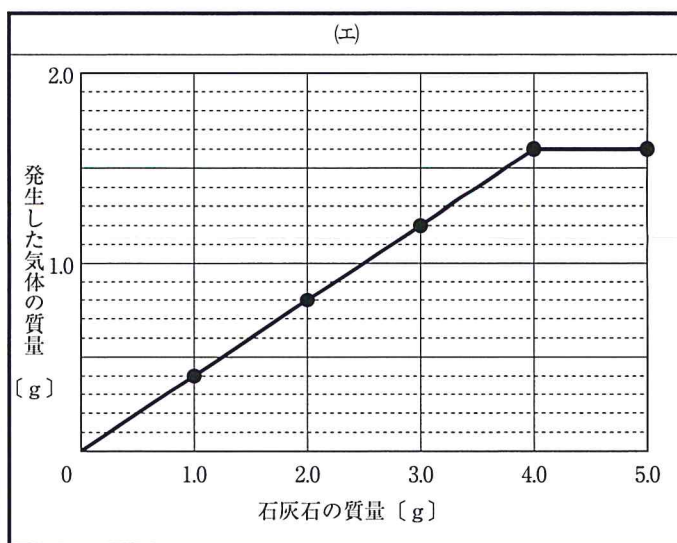
問4	(ア)	(イ)	(ウ)
	3	4	2

4	各3点 計9点
---	------------

問5	(ア)	(イ)	(ウ)
		2	5 A
	(エ)		
	3	5	

5	(ア)は6点 (イ)は3点 (ウ)は3点 (エ)は 両方できて 4点 計16点
---	---

問6	(ア)	
	4	
	(イ)	$HCl \rightarrow H^+ + Cl^-$
	(ウ)	
a	$Y = 10X$	
b	50	cm ³



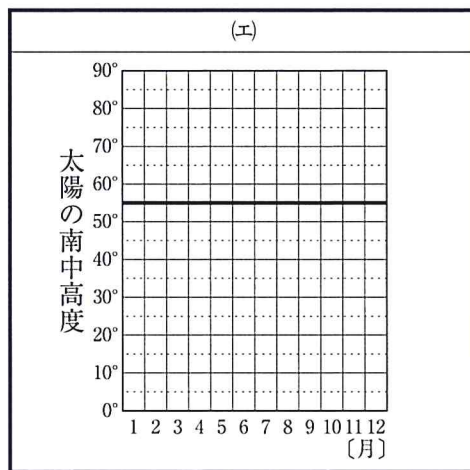
6	(ア)は3点 (イ)は 両方できて 3点 (ウ)は 両方できて 4点 (エ)は6点 計16点
---	--

問7	(ア)	(イ)	(ウ)
	2	太い根 主根 細い根 側根	1

7	(ア)は3点 (イ)は 両方できて 4点 (ウ)は3点 (エ)は6点 計16点
---	---

(エ)

ホウセンカの葉から出ていく水蒸気の量は、
表側からよりも裏側か
らのほうが多い。



8	(ア)は3点 (イ)は3点 (ウ)は4点 (エ)は6点 計16点
---	--

問8	(ア)	(イ)		
	4	1		
	(ウ)			
	11	時	45	分

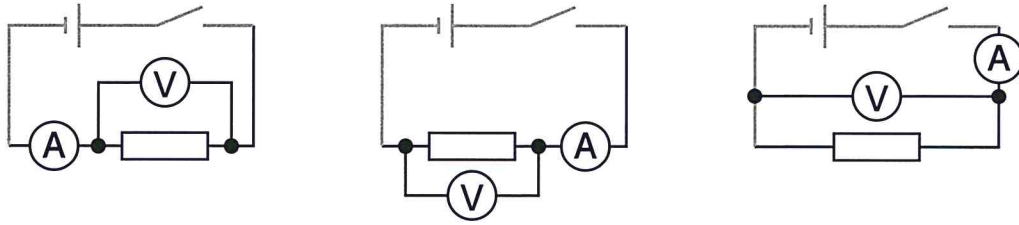
計	100点
---	------

採点上の注意

問5の(ア)について

- ① 正答例以外の回路図であっても、与えられた条件をすべて満たし、問題の趣旨に即した回路図ならば正答とする。
- ② 導線の接続を示す ● がなくても可とする。
- ③ 完全正答とし、中間点は設けない。

〈 正答例 〉



問5の(ウ)については、5.0, 5.00等、小数点以下に0をつけたものも可とする。

問5の(エ)について

- ① 順不同可とする。
- ② 二つともに正解で正答とする。中間点は設けない。

問6の(イ)について

- ① 順不同可とする。
- ② 二つともに正解で正答とする。中間点は設けない。

問6の(ウ)について

- ① aは正答例以外の式であっても、問題の趣旨に即した式ならば正答とする。
- ② bは50.0, 50.00等、小数点以下に0をつけたものも可とする。
- ③ a, b二つともに正解で正答とする。中間点は設けない。

〈 正答例 〉

$$X = \frac{1}{10} Y, \quad X = \frac{Y}{10}, \quad X : Y = 3 : 30, \quad X : Y = 1 : 10$$

問6の(エ)について

- ① グラフが適切な点を通る直線ならば正答とする。
- ② グラフ上の ● がなくても可とする。
- ③ 完全正答とし、中間点は設けない。

問7の(イ)については、二つともに正解で正答とする。中間点は設けない。誤字は誤答とする。

問7の(エ)について

- ① 正答例以外の文であっても、与えられた条件をすべて満たし、問題の趣旨に即した文ならば正答とする。
- ② 内容についての中間点は設けない。
- ③ 誤字、脱字については、その数にかかわらず、2点減点とする。誤字、脱字の判断は、校内で統一すること。

〈 正答例 〉

- ・ (ハウセンカの葉から出ていく水蒸気の量は,) 裏側からよりも表側からのほうが少ない。 19字
- ・ (ハウセンカの葉から出ていく水蒸気の量は,) 表よりも裏からのほうが多い。 14字
- ・ (ハウセンカの葉から出ていく水蒸気の量は,) 気孔が多く存在する裏側から多く出る。 18字

問8の(ウ)については、完全正答とし、中間点は設けない。

問8の(エ)について

- ① グラフが適切な点を通る直線ならば正答とする。
- ② 完全正答とし、中間点は設けない。

疑問点は複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。

V 社会 正答表並びに採点基準 (平成25年度)

問1

(ア)				(イ)	(ウ)	(エ)
A	B	C	D			
4	2	1	3	4	2月14日 午後8時	2

(オ)

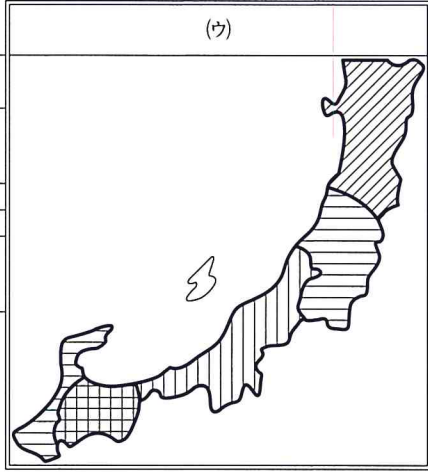
A	S	E	A	N	の	先	発	加	盟	国	と	後	発	加	盟	国	と	の
間	に	は	経	済	格	差	が	あ	り	、	日	本	は	地	域	の	総	合
的	な	開	発	を	支	援	す	る	と	い	う	観	点	か	ら	、	後	発
加	盟	国	に	対	し	政	府	開	発	援	助	を	よ	り	多	く	行	っ
て	い	る	。															

70 (オ)は正答例。

問2

(ア)		(イ)	
2		3	
(エ)	(オ)		
	(i)	(ii)	(iii)
4	2	1	4
	2	3	1
	4	2	3

(オ)の(ii)は順不同可。



問3

(ア)			(イ)
4	2	3	2

(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)
風土記	3	4	3	1

問4

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
4	3	5	1	2

(カ)

第	1	次	産	業	に	従	事	す	る	人	が	減	る	な	か	、	地	方	
圏	か	ら	三	大	都	市	圏	に	人	が	移	動	し	た	こ	と	に	よ	
り	生	じ	た	、	選	挙	区	間	の	選	挙	区	別	の	人	口	と	議	
員	の	定	数	と	の	不	均	衡	を	是	正	す	る	た	め	。			

70 (カ)は正答例。

問5

(i)		(ii)		(iii)	
1		1		労働基準法	
(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)		
2	3	4	3		

問6

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
6	3	物価が継続的に下落すること。	4

(オ)

(カ)	(キ)
2	1

30 (ウ), (オ)は正答例。

問	配点
1	(ウ)は4点 (オ)は8点 他は各2点 計18点
2	(ウ)は4点 他は各2点 計16点
3	(ア)は4点 他は各2点 計16点
4	(カ)は8点 他は各2点 計18点
5	各2点 計14点
6	(ウ), (オ)は 各4点 他は各2点 計18点
計	100点

採点上の注意

問1

(ア)については、順番に四つともすべてできて正答とする。

(オ)について

- ① 正答例以外の文であっても、与えられた条件をすべて満たし、次の(a)~(c)についてすべて書いてある文ならば正答とする。
 - (a) 表Ⅰをもとに、ASEAN（東南アジア諸国連合）の先発加盟国と後発加盟国との間に経済格差があること。
 - (b) 資料をもとに、ASEAN（東南アジア諸国連合）加盟国に対する日本の政府開発援助（ODA）は、地域の総合的な開発という観点を重視して支援するということ。
 - (c) 表Ⅱをもとに、日本政府が後発加盟国に対してより多く支援していること。
- ② 中間点について
 - ・与えられた条件のうち、全体の字数と文末の表現の条件を満たしているが、①の(a)~(c)のいずれか一つが不十分なものは、4点減点とする。
 - ・誤字、脱字は、その数にかかわらず、2点減点とする。誤字、脱字の判断は、校内で統一すること。
- ③ 疑問点は複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。

〈正答例〉

- ・先発加盟国と後発加盟国の間では一人あたりの国内総生産に差があり、日本は地域の連結制の向上をめざして、開発途上の後発加盟国にODAを重点的に行っている。(76字)
70
- ・東南アジア諸国連合の内には、経済発展の格差があり、日本政府は地域の総合的發展をめざし、ODAの贈与の6割近くを後発加盟国にあてて援助を行っている。(73字)
70

問2

(ウ)について

- ① 中間点は設けない。問題の趣旨に即しているならば正答とする。
- ② 疑問点は複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。

(オ)の(ii)については、二つともできて正答とする。順不同可。

(オ)の(iii)については、順番に四つともすべてできて正答とする。

問3

(ア)については、順番に三つともすべてできて正答とする。

(ウ)の漢字の表記について

- ① 中間点は設けない。誤字、脱字は誤答とする。誤字、脱字の判断は、校内で統一すること。
- ② 疑問点は複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。

問4

(カ)について

- ① 正答例以外の文であっても、与えられた条件をすべて満たし、次の(a)~(c)についてすべて書いてある文ならば正答とする。
 - (a) 表Ⅰをもとに、第1次産業に従事する人が減ったこと（第2次産業と第3次産業に従事する人が増えたこと）。
 - (b) 表Ⅱをもとに、地方圏から三大都市圏に人が移動したこと（三大都市圏の人口が増えたこと）。
 - (c) 資料をもとに、選挙区間で生じた選挙区別の人口と議員の定数との不均衡を是正することになったこと。
- ② 中間点について
 - ・与えられた条件のうち、全体の字数と文末の表現の条件を満たしているが、①の(a)~(c)のいずれか一つが不十分なものは、4点減点とする。
 - ・誤字、脱字は、その数にかかわらず、2点減点とする。誤字、脱字の判断は、校内で統一すること。
- ③ 疑問点は複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。

〈正答例〉

- ・産業構造が変化するとともに、地方圏から三大都市圏に人口が集中し、三大都市圏では以前よりも議員の定数に比べて、有権者数が増加していることを是正するため。(75字)
70
- ・農林水産業よりも鉱工業と商業などに従事する人の割合が増え、東京、大阪などに人口が集中することになった結果、都市と地方との間で生じている一票の格差を是正するため。(80字)
70

問5

(ア)の(iii)の漢字の表記について

- ① 中間点は設けない。誤字、脱字は誤答とする。誤字、脱字の判断は、校内で統一すること。
- ② 疑問点は複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。

問6

(ウ)について

- ① 正答例以外の文であっても、与えられた条件をすべて満たし、問題の趣旨に即した文ならば正答とする。
- ② 中間点は誤字、脱字についてのみ設ける。誤字、脱字はその数にかかわらず、2点減点とする。誤字、脱字の判断は、校内で統一すること。
- ③ 疑問点は複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。

〈正答例〉

- ・物価がだらだらと下がること。(14字)
- ・物価が下がること。(9字)

(オ)について

- ① 正答例以外の文であっても、与えられた条件をすべて満たし、問題の趣旨に即した文ならば正答とする。
- ② 中間点は誤字、脱字についてのみ設ける。誤字、脱字はその数にかかわらず、2点減点とする。誤字、脱字の判断は、校内で統一すること。
- ③ 疑問点は複数の採点者によって判断し、校内で統一すること。

〈正答例〉

- ・所得金額に応じた累進課税というしくみになっています。(26字)
- ・所得金額が少なくなると、税率が低くなるしくみになっています。(30字)
- ・所得金額の区分が異なると、税率が異なるしくみになっています。(30字)